

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 効果検証

No.	事業名	事業概要	総事業費(円)	交付金充当額(円)	その他(円)	事業期間	事業内容	成果及び評価	担当課局
1	継続化支援商工会補助事業	終息後の経済回復原資として、商工会を通じて町内事業者に給付金を支給し、事業継続化を支援する。	57,193,009	57,193,009		R2.5.15 ～ R2.10.28	継続化支援商工会補助金(給付金・事務手数料・経費含む) ・100,000円×557件=55,700,000円(給付金) ・1,493,009円(事務手数料・事務経費) 町内事業者550件(売上対前年同月比15%以上かつ10万円以上の減少事業者で、町税に滞納がなく、今後1年以上事業を営む予定であるもの)	町内の事業所に、新型コロナウイルス感染症対策のための備品等を購入する経費の一部を助成し、感染拡大防止に寄与した。	観光商工課
2	大学生等支援事業	家計の急変や、アルバイトの収入減により就学が厳しくなった学生を支援する。	4,700,000	4,700,000		R2.5.15 ～ R3.3.15	大学生等支援金 ・20,000円×235人=4,700,000円 町出身学生(大学生等)235人	給付金を給付し、困窮する生活を少しでも和らげる一助となった。	教育委員会
3	小中学校児童生徒給食費負担金事業	新型コロナウイルスの影響により、食費の増加や収入減等により厳しくなった家計を補助するために、小中学校児童生徒給食費を町が負担する。	6,000,000	6,000,000		R2.5.15 ～ R2.5.28	町内小中学校に通う児童生徒の給食費(令和3年5～8月分) 単価 ・小学生3,930円 ・中学生4,670円	子育て世帯の負担軽減に寄与できた。	教育委員会
4	休業事業者協力金事業	町内飲食・宿泊業に対し休業要請をしウイルス感染拡大を防止するとともに、協力金を支給し事業者を支援する。	33,400,000	16,200,000	17,200,000 (県補助金)	R2.4.24 ～ R2.7.15	休業要請協力金 ・200千円×162件=32,400千円 協力要請に応じた町内宿泊事業者・観光事業者162件	休業要請をし、新型コロナウイルス感染拡大防止に協力した162件の事業者に協力金200千円を支給し、感染拡大防止に寄与した。	観光商工課
5	緊急誘客対策観光協会補助金	宿泊客の減少による収益の悪化を防ぐため、観光協会を通して町独自の誘客対策を行い、観光産業の支援を図る。	15,000,000	15,000,000		R2.6.9 ～ R2.11.5	観光誘客対策事業に係る観光協会補助金 ・観光協会補助金 15,000,000円	新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少した観光需要を回復する為、OTAを活用し宿泊割引クーポン券の発行やポイント付特典を行った。また町内事業所で使用できる買物券を発行し消費を拡大した。	観光商工課
6	第2次誘客対策観光協会補助金	宿泊客の減少による収益の悪化を防ぐため、観光協会を通して町独自の誘客対策を行い、観光産業の支援を図るとともに、情報発信を含めた町観光協会に於けるコロナ対策の強化を行う。	28,700,000	28,700,000		R2.9.8 ～ R4.3.25	観光誘客対策事業に係る観光協会補助金 ・観光協会補助金 28,700,000円	一次に続き新型コロナウイルス感染拡大の影響により減少した観光産業を回復する為、町観光協会やOTAを活用し、ガソリン券付き宿泊プランなどのキャンペーンを行い、消費を拡大した。	観光商工課

7	プレミアム商品券事業 商工会補助金	生活支援を目的とした消費者に有利な商品券の発行により、消費喚起を促し、町内経済の活性化を図る。	28,321,527	28,321,527		R2.8.19 ～ R3.3.31	プレミアム商品券発行事業に係る商工会への補助金 ・プレミアム商品券 プレミアム分 52,932枚 26,466,000円 1セット 5,000円(商品券額面 7,500円) 一世帯につき最大4セット・20,000円(商品券額面30,000円) ・抽選会経費、その他経費 1,855,527円	これまでも東伊豆町商工会が商品券の販売を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ消費を拡大する為、プレミアム率を高くした商品券を発行し、宿泊客の確保を図ると共に、町内の消費が拡大した。	観光商工課
8	感染症対策備品等 購入費補助金	新型コロナウイルス感染症対策のために備品等を購入する宿泊業・小売業・飲食業に対し経費の一部を助成することで、次なる感染症拡大防止対策を進め、「新たな生活様式」による旅館単位での観光客の受け入れ環境の整備を図る。	34,989,000	34,989,000		R2.8.19 ～ R3.3.15	感染症対策備品等に係る購入費 ・第1次分実績:134件 11,363,000円 ・第2次分実績:169件 23,626,000円 町内に施設を有する宿泊業者・飲食業者	町内の事業所に、新型コロナウイルス感染症対策の為に備品等を購入する経費の一部を助成し、感染拡大防止に寄与した。	観光商工課
9	新規事業参加者 支援補助金	新型コロナウイルス感染症の影響で町内経済が冷え込むなか、新規事業への参加を希望されている個人事業主に対し、一定額の資金を支援することで、新たな事業への参加を促し町内経済の活性化を図る。	3,632,000	3,632,000		R2.8.19 ～ R3.3.25	事業開設に係る経費 ・1,000,000円×2件=2,000,000円 ・877,000円×1件=877,000円 ・755,000円×1件=755,000円 1,000,000円を限度とし、町内者経費の2/3 町外者は1/2を助成 町内で事業を営もうとしている者で、3年以上継続できる者	新型コロナウイルス感染症の影響で町内経済が冷え込むなか、新規事業への参加者を支援し、経済の活性化をすることができた。	観光商工課
10	停電時電源切替システム 設置事業	新型コロナウイルスの流行及び近年頻発、激甚化する自然災害に備えるため、災害時に電気の供給を発電機からの電気に切り替え、避難所を明るくすることにより避難者に安心感を与え、また、運営に不備が生じないような環境整備を図り、3密を回避した分散避難を行い、避難所での感染拡大防止に努める。	22,044,000	22,044,000		R2.8.19 ～ R3.3.23	電源供給対策事業 ・稲取小学校:5,429,600円 ・稲取中学校:2,659,800円 ・熱川小学校:2,677,400円 ・熱川中学校:2,721,400円 ・体育センター:2,817,100円 ・旧大川小学校:5,738,700円	災害時の電気の供給システムを確保したことで、突発的な災害でも住民が安心して避難できる環境が整備できた。	防災課
11	災害時職員用ビブス 購入事業	新型コロナウイルス流行及び近年頻発、激甚化する自然災害発生時に色分けしたビブスを着用することにより、各班の役割分担を明確にし、避難者に安心感を与え、また、運営に不備が生じないような環境整備を図り、3密を回避した分散避難を行い、避難所での感染拡大防止に努める。	660,000	660,000		R2.8.19 ～ R3.2.24	災害対策本部運営備品購入事業 ・災害時用ビブス1,650円×400着=660,000円	各班をビブスにより明確化できたことにより、円滑な避難所運営及び災害対策本部運営が可能となった。	防災課
12	非接触型体温計購入 事業	災害時の指定避難場所の新型コロナウイルス感染症の予防対策として非接触型体温計を購入し、感染防止を図る。	107,690	107,690		R2.8.19 ～ R2.9.7	感染症対策事業(非接触型体温計購入) ・9,790円×11か所=107,690円 町内避難所	各避難所に非接触型体温計を整備したことで、避難所において、健康者と体調不良者の区別をスムーズに行えるようになった。これにより、コロナ渦での円滑な避難所運営が可能となった。	防災課

13	学校保健特別対策事業費補助金	学校再開に伴う感染症対策及び学習保障等に係る整備を行う。	4,306,386	2,000,000 (一部充当)	2,000,000 (国庫補助金) 306,386 (一般財源)	R2.8.19 ～ R3.3.15	各学校の消毒等の費用及び学習保障のための備品や消耗品の購入費 (消毒液、非接触式体温計、クロームブック、プロジェクター等) 町立の小中学校4校 ※国庫補助あり	感染拡大による学校休校に伴う関係機関の負担が軽減され、ICT教育推進も図れた。	教育委員会
14	GIGAスクール整備事業	学校再開に伴う学習保障等に係る整備を行う。	20,461,474	20,461,474		R2.8.19 ～ R3.11.25	学習保障のための端末などの備品や消耗品の購入費 (iPad、ノートPC、クロームブック等) 町立の小中学校4校	感染拡大による学校休校に伴う関係機関の負担が軽減されICT教育推進も図れた。	教育委員会
15	シェアオフィス整備事業	新型コロナウイルスをきっかけにニーズが高まることが予想されるサテライトオフィスやワーケーションの拠点となる施設を整備し、都市部からの関係人口の流入を促し、町内経済の活性化に取り組む。	17,352,500	17,352,500		R2.9.8 ～ R3.3.26	シェアオフィス整備事業 ・設計費 1,094,500円 ・施設整備費 15,708,000円 ・備品購入費 550,000円 旧東海汽船事務所(町所有施設)	今回の改修により、令和3年度から本格的にワーケーションの誘致推進に取組む施設を整備することができた。	企画調整課
16	美しい伊豆創造センター負担金	伊豆半島全体で観光誘客事業を実施することにより、新型コロナウイルス感染症により危機的な状況の観光産業の回復を図る。	1,890,000	1,890,000		R2.9.8 ～ R2.12.15	誘客対策事業 ・総額26,000,000円のうち、当町負担分1,890,000円 一般社団法人美しい伊豆創造センター	テレビCM、ユーチューブ広告などを通じて、伊豆の最大のマーケットである首都圏に向けて、伊豆半島の観光を面的にアピールすることができた。	企画調整課
17	一部事務組合下田メディカルセンター負担金(検温測定購入事業) (化学発光酵素免疫測定システム関連設備整備事業)	(検温測定購入事業) 公立病院の玄関に自動体温測定器を設置し、他の患者や職員の感染予防対策を図る。 (化学発光酵素免疫測定システム関連設備整備事業) 定量抗原検査機器の導入にあたり、その他必要となる関連機器の整備及び工事等を実施し、抗原検査体制の拡張を図る。	1,542,000	1,542,000		R2.8.19 ～ R3.2.25	(検温測定購入事業) ・一部事務組合負担金:2,250,000円のうち、当町負担金:375,000円 (化学発光酵素免疫測定システム関連設備整備事業) ・一部事務組合負担金:7,002,000円のうち、当町負担金:1,167,000円 下田メディカルセンター	病院の玄関に自動体温測定器を設置して、患者や職員の感染予防対策を図っている。また、定量抗原検査機器を導入し抗原検査体制の拡充が図られた。(1市5町で負担している。)	健康づくり課
18	避難所備品購入事業	災害時の指定避難場所の新型コロナウイルス感染症の予防対策として必要な物資を購入し、感染防止を図る。	12,108,800	7,554,300 (一部充当)	4,554,500 (一般財源)	R2.8.19 ～ R3.2.19	感染症対策事業 ・備品購入 12,108,800円 (ファンタジーパーティーファミリールーム・折りたたみ式簡易ベッド・非接触型体温測定器・LEDランタン・パルスオキシメーター・電子ブレーカー内蔵ドラムリール・折りたたみ式台車 等) 指定避難場所	指定避難所5か所に感染症対策用備品を配備し、緊急災害時の避難者に対する検温、感染症予防に役立った。	住民福祉課
19	新型コロナウイルス感染症に伴う中小企業経済変動対策資金利子補給金基金積立金	新型コロナウイルス感染症により事業活動に影響を受けた中小企業者の経営安定化を支援するため、静岡県が実施する融資制度に基づく融資を受けた中小企業者に対し交付する利子補給金を基金に積立てる。	17,000,000	17,000,000		R3.2.19 ～ R3.3.29	経済変動対策資金利子補給補助金 ・R3利子補給額 15,306,020円 ・R3年度取崩額 15,000,000円 残り2,000,000円はR4で取崩	事業の継続を支援するために、事業所の借入金利子を補給するための資金を基金として積立てることができた。	総務課

20	GIGAスクール整備事業(電子黒板購入)	電子黒板を町内4校の全普通教室分24台導入し、新型コロナウイルス感染症による休校等を想定し、リモートでのオンライン学習にも活用していく。	9,927,500	9,927,500		R2.12.11 ～ R3.5.11	電子黒板購入費等 ・電子黒板 407,000円×24台=9,768,000円 ・実物投影機 39,875円×4台=159,500円 町内小中学校4校	感染拡大による学校休校に伴う関係機関の負担が軽減され、ICT教育推進も図れた。	教育委員会
		全20事業 合計	319,335,886	295,275,000	24,060,886				